

平成26年度 事業報告

産業クラスター研究会オホーツク

麻プロジェクトリーダー 舟山 秀太郎

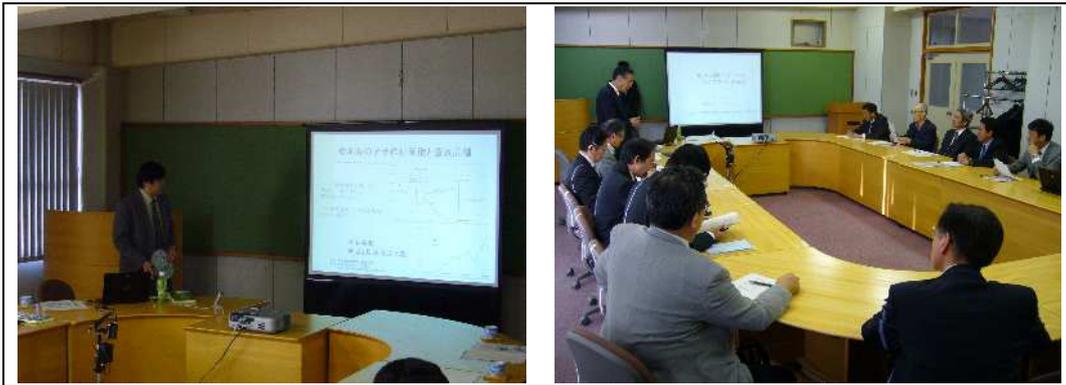
【麻プロジェクト】

日 程	内 容	場 所
4月11日	第1回 麻プロジェクト会議 ・平成26年度事業計画について ・北海道産業用大麻可能性検討会の最終報告について ・はまなす財団・ノーステック財団の支援事業について	北見市工業技術センター
5月20日	「産業用大麻の可能性について」三者鼎談 佐藤のりゆき氏・松岡東川町長・舟山リーダー	札幌市
6月6日	第2回 麻プロジェクト会議 ・はまなす財団・ノーステック財団の支援事業について	北見市工業技術センター
6月28日 ~29日	第3回日本麻フェスティバル in 栃木 ・舟山リーダー・進藤幹事が参加	栃木県鹿沼市
7月4日	第3回 麻プロジェクト会議 ・はまなす財団・ノーステック財団の支援事業について ・第3回日本麻フェスティバル in 栃木の報告 ・(一社)北海道産業用大麻協会について	北見市工業技術センター
7月12日	第1回ヘンプスクール ・「産業用大麻と地域戦略」について、 舟山リーダーが講演	東川町
7月29日	上川ヘンプ研究会 麻シンポジウム ・舟山リーダーがパネリストとして参加	東川町
8月25日	第4回 麻プロジェクト会議 ・ノーステック財団の支援事業の詳細について ・はまなす財団の支援事業の開催時期について	北見市工業技術センター
10月10日	麻プロジェクト研修会 「麻商品開発に向けたビジネスプランの構築」 講師 日本大学大学院総合科学研究科研究員 赤星 栄志 氏	北見市工業技術センター
1月25日	第5回 麻プロジェクト会議 ・麻プロジェクト研修会の事業報告について ・はまなす財団の支援事業「麻シンポジウム」について	北見市工業技術センター
2月17日	北海道 HEMP ぶっちゃけ座談会 Vol. 1 ・舟山リーダーが講師として参加	札幌市
3月13日	「産業用大麻と地域戦略」を演題とし、 大空町観光協会が舟山リーダーが講演	大空町
3月14日	東川町産業用大麻試験栽培報告会 ・舟山リーダー及び事務局が参加	東川町
3月17日	第5回 麻プロジェクト会議 ・「麻シンポジウム」にかかる最終打合せ ・平成27年度の事業について	北見市工業技術センター
3月25日	第4回北海道産業用大麻可能性検討会 ・委員である舟山リーダー、及び事務局が出席	札幌市

日 程	内 容	場 所
3月26日	麻シンポジウム ・講演1「産業用大麻の事業化に向けて」 (一社)北海道産業用大麻協会 代表理事 菊地 治己 氏 ・講演2「産業用大麻の栽培と事業の現状について」 日本麻振興会 理事長 大森 由久 氏 ヘンプマルシェも同時開催	北見市民会館

【麻プロジェクト研修会】

ノーステック財団の支援事業として開催。日本大学大学院総合科学研究科研究員の赤星栄志氏より、日本各地での産業用大麻に関する動き、世界各国での大麻に関する状況についての説明、事業化を行う上での研究並びに課題についての提言を頂く。今後のビジネスプランを進める上での豊富な情報が満載であった。



【麻シンポジウム】

はまなす財団の支援事業として開催。現在東川町で進められている産業用大麻の試験栽培の結果報告、日本で流通している産業用大麻の最大の生産地である、栃木県の麻農家の現状と実例紹介を実施。加えて300点以上の麻を原料とした食品・衣類の展示並びに販売を通し、約25,000種以上の工業製品が製造可能といわれている産業用大麻がいかに有用な素材であり、事業化の可能性を持っているかということ、参加者の方々に理解と知識を深めてもらうことができた。



【イソップコリドール】



イソップコリドールの事業ユニット（図1参照）

(1) ICT活用による精密営農システムの研究開発

分散さく圃営農技術開発による可視化マネジメント構築

収量センシングの開発による全体最適営農の集約

農林水産業ロボット技術活用推進事業（農林水産省）の採択を受け実施中

概要・・・収量センサー付コンバイン導入・自動操舵・トランスポーターファミング実証（事業ユニット）

(2)大豆を核にした食クラスター構築

1000ha 輪作工程管理システムの構築・・・事業化（事業ユニット）

大豆を特別にする事業（機能性食品開発・健康価値創出

事業ユニット）地域食品産業連携加速・新成長市場進出支援事業

（北海道）の採択を受け実施

概要・・・大豆と乾燥野菜による健康市場の創出 事業概要・・・図2参照

地域融合フォーラム

日時 平成27年1月27日

場所 ホテル黒部

参加者 約130名

テーマ 自分の健康は自分で守る 講演と試食

講演 15:05～17:00

健康科学と農林水産物の機能性

ノーステック財団 地域イノベーション戦略推進室

チーフコーディネータ 北野邦尋 氏

発酵食品と健康

東京農業大学生物産業学部食品香粧学科応用微生物学研究室

准教授 遠藤 明仁 氏

試食会 17:15 ~ 18:00

健康に資する食品開発・レシピ開発（取り組み紹介）

冊子印刷配布（内容）

健康の価値 ヘルスプロモーションについて
健康科学と農林水産物の機能性
微生物の食品利用と健康への効果
～発酵食品と健康～

事業構想 〔大豆〕をキーワードに健康維持・増進への潮流を創る
大豆と健康・健康診断による体内環境の可視化
健康市場の創出

イソップ・コリドールの概要

(3) バイオマスの利活用による事業化研究（事業ユニット）

高付加価値化検討(キチンキトサン生成・乳酸菌培養・木質飼料化)

循環システム構築(給食残渣・飼料・堆肥・土壌作物収支診断)

地域で生産される有機資材を原料とした高品質資材の研究

事業構築中（参照図3）

白樺チップの飼料化実証研究

プロジェクト報告会 平成27年5月27日 於：ホテル黒部

(4) 旧サロマトンネルの有効活用調査研究（事業ユニット）

環境データの観測及び貯蔵・育成・熟成等実証研究

環境継続調査、空間解放調査・・・参照図4

産学官プラットフォームによる活用手法研究

佐呂間町と産学官連携で打合せ・検討中

【テレワーク】

事業報告～概要



- 名称:ビッグデータからテレワークまで！ 2020年に向けた最新ICTセミナー
- 日時:2014年10月14日(火) 14:00-16:30
- 会場:北見芸術文化ホール 大練習室
- 主催:産業クラスター研究会オホーツク
- 共催:株式会社ワイズスタッフ
- プログラム:
 - 「最新ITで、地域の企業が強くなる！
～'人'の把握術からビッグデータまで」
JBCC株式会社 マーケティング&事業開発 ソリューション事業部
理事 井下田 久幸 氏
 - 「アベノミクスの地方創生とテレワークの可能性」
株式会社ワイズスタッフ・株式会社テレワークマネジメント
代表取締役 田澤 由利
 - パネルディスカッション



- 「本音で語ろう！最新のICTは、地域に何をもたらすのか？」
 - ・ C&Cビジネスサービス 代表取締役社長 高橋 正孝
 - ・ 株式会社システムサプライ
株式会社イソップアグリシステム 代表取締役 門脇 武一 氏
 - ・ 井下田 久幸 氏
 - ・ 田澤 由利

Copyright © 2015 TELEWORK MANAGEMENT All Rights Reserved. 2

事業報告～開催結果



参加人数:35名

結果報告:

産業クラスター研究会オホーツクの26年度地域活性化におけるテレワーク普及事業の一環としてセミナーを開催。JBCC格式会社理事井下田氏からは、時代そして人の変化を捉え、ビッグデータを使い顧客満足度を高める重要性などを解説。株式会社ワイズスタッフの田澤由利からは、都市部の企業に勤めながら、地方にターン・リターンができるテレワークのメリットと、地方創生への可能性について説明した。C&Cビジネスサービス代表取締役社長の高橋正孝氏並びに本研究会の幹事であり、(株)システムサプライ代表取締役の門脇武一氏も加わったパネルディスカッションでは、テレワーク等ICTを使った働き方をはじめ、ICT活用による地域経済の活性化について活発な議論が行われた。



Copyright © 2015 TELEWORK MANAGEMENT All Rights Reserved. 3

【その他】

フィンランド訪問団（セツポ＝マキ氏一行）歓迎事業

平成 26 年 5 月 16 日（金）実施

産業クラスター研究会オホーツク 意見交換会

平成 27 年 1 月 26 日（金）実施